

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校

理

昭和大学病院の業務に関する報告につ

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成19年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	149人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	304人	377人	530.2人	看護業務補助	16人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	2人	0人	2.0人	理学療法士	8人	歯床検査技師	87人
薬剤師	51人	0人	51.0人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	0人	検査その他の	0人
助産師	44人	0人	44.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	2人
看護師	770人	8人	778.0人	臨床工学技士	15人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	4人	0人	4.0人	栄養士	5人	その他の技術員	0人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	0人	事務職員	131人
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	45人	その他の職員	25人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	743.5人	0人	743.5人
1日当たり平均外来患者数	1,672.0人	14.7人	1,686.7人
1日当たり平均調剤数		505.9剤	

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	0人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・無	0人
胎児心超音波検査	有・無	0人
インプラント義歯	有・無	0人
顎顔面補綴	有・無	0人
顎関節症の補綴学的治療	有・無	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	0人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・無	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	0人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	0人
CTガイド下気管支鏡検査	有・無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	0人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	0人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	0人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	0人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	0人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・無	0人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	0人
成長障害のDNA診断	有・無	0人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	1人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	0人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	0人
神経変性疾患のDNA診断	有・無	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	0人
重粒子線治療	有・無	0人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	0人
31磷-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	0人
神経芽腫のRNA診断	有・無	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素凍結骨移植	有・無	0人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	0人
Q熟診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	0人
活性化Tリンパ球移入療法	有・無	0人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	0人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	0人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	0人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	0人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・無	0人
ケラチン病の遺伝子診断	有・無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	0人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	0人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・無	0人
超音波骨折治療法	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・無	0人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・無	0人
膀胱水圧拡張術	有・無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	0人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジエネレーション法	有・無	0人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・無	0人
腹腔鏡下直腸固定術	有・無	0人
骨移動術による関節温存型再建	有・無	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・無	0人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・無	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・無	0人
先天性難聴の遺伝子診断	有・無	0人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・無	0人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	0人
腹腔鏡下子宫体がん根治手術	有・無	0人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
カフェイン併用化学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	0人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ベーチェット病	25人	・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	0人
・多発性硬化症	11人	・ウェグナー肉芽腫症	12人
・重症筋無力症	23人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	5人
・全身性エリテマトーデス	188人	・多系統萎縮症	0人
・スモン	2人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	31人	・膿疱性乾癬	1人
・サルコイドーシス	17人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・筋萎縮性側索硬化症	4人	・原発性胆汁性肝硬変	32人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	74人	・重症急性胰炎	12人
・特発性血小板減少性紫斑病	52人	・特発性大腿骨頭壊死症	14人
・結節性動脈周囲炎	8人	・混合性結合組織病	22人
・潰瘍性大腸炎	111人	・原発性免疫不全症候群	3人
・大動脈炎症候群	8人	・特発性間質性肺炎	1人
・ビュルガー病	0人	・網膜色素変性症	0人
・天疱瘡	0人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	12人	・原発性肺高血圧症	1人
・クローン病	50人	・神経線維腫症	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	16人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	43人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	5人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	0人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月に8回開催	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 81例	剖検率 14.2%

1. 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元	
1	ヒト免疫細胞を組み込んだハイブリッド型人工皮膚モデルを用いた創傷治癒の研究	加王 文祥	形成外科	1,700,000	補	文部科学省
2	母体血中有核赤血球を用いた胎児診断法の開発	岡井 崇	産婦人科	2,000,000	補	おぎや一献金
3	更年期障害の診断治療の臨床的実証研究	長塚 正晃	産婦人科	600,000	委	厚生労働省
4	母体血を用いた胎盤機能評価法の開発	関沢 明彦	産婦人科	1,500,000	補	厚生労働省
5	全国規模の多施設共同ランダム化比較試験と背景因子分析に基づく早産予防ガイドラインの作成	岡井 崇	産婦人科	39,000,000	補	厚生労働省
6	子宮内膜症の卵巣明細胞癌、類内膜腺癌への悪性化メカニズムの解析	赤羽 智子	産婦人科	1,300,000	補	文部科学省
7	HIFU(強出力集束超音波)の胎児治療への応用に関する基礎研究	岡井 崇	産婦人科	9,700,000	補	文部科学省
8	イソフラボンの正常子宮内膜および子宮内膜癌に対する作用検討	矢内原 敦	産婦人科	1,600,000	補	文部科学省
9	強出力集束超音波を用いた子宮筋腫の無侵襲治療装置と治療法の開発	市塚 清健	産婦人科	1,400,000	補	文部科学省
10	モデルマウスを利用した卵巣癌形成機構の解明	奥田 剛	産婦人科	1,800,000	補	文部科学省
11	プレバイオティックスによる早産抑止機序の基礎的解析	大槻 克文	産婦人科	1,900,000	補	文部科学省
12	妊娠末梢血中胎児有核赤血球を用いた無侵襲的な胎児遺伝子解析法の検討	松岡 隆	産婦人科	1,600,000	補	文部科学省
13	プレバイオティックスを用いた子宮頸管熟化抑制による早産抑止効果の検討	八鍬 恭子	産婦人科	1,300,000	補	文部科学省
14	新しい胎児・胎盤機能評価装置の開発および臍帯・胎盤異常の病態解明に関する研究	長谷川 潤一	産婦人科	2,300,000	補	文部科学省
15	周産期医療における先進的診断技術の開発と応用に関する研究	岡崎 志帆	産婦人科	1,000,000	補	成育医療研究委託事業
16	妊娠高血圧症候群の病態解明および発症予防についての研究	関沢 明彦	産婦人科	2,210,000	補	日本学術振興会 科研費 基盤C
17	PCRを用いたゲノムワイドな遺伝子解析法の開発とその出生前診断への応用	松岡 隆	産婦人科	2,210,000	補	日本学術振興会 科研費 基盤C

小計 17件

(注)1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行なった研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3. 「補助元又委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

1. 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元	
18	母体血中RNAを用いた癒着胎盤の発症予知法の開発	岡崎 志帆	産婦人科	2,860,000	補	日本学術振興会 科研費 若手B
19	門脈血行異常症に関する調査研究(難治性疾患克服研究事業)	井廻 道夫	消化器内科	600,000	委	厚生労働省
20	難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究(難治性疾患克服研究事業)	井廻 道夫	消化器内科	2,500,000	委	厚生労働省
21	消化器癌に対するインターフェロンαと樹状細胞による免疫療法(肝炎等克服緊急対策研究事業)	廣石 和正	消化器内科	3,000,000	補	厚生労働省
22	臓器トロピズムの異なるHCVの分離と解析	伊藤 敬義	消化器内科	2,500,000	委	政策創薬総合研究事業
23	消化器癌におけるインターフェロン産生キラー樹状細胞の治療効果と臨床応用	廣石 和正	消化器内科	1,170,000	補	科学研究費補助金 基盤C
24	C型肝炎ウイルスによる感染B細胞内IR ES依存性翻訳制御及び病原性発現機構の解析	伊藤 敬義	消化器内科	1,200,000	補	科学研究費補助金 基盤C
25	変異型ペプチドを用いた肝細胞癌に対する樹状細胞による免疫療法	江口 潤一	消化器内科	1,300,000	補	科学研究費補助金 若手B
26	C型肝炎ウイルス感染におけるレセプターを含む細胞性因子の関与	森川 賢一	消化器内科	2,210,000	補	科学研究費補助金 若手B
27	インターフェロンαとCpGを併用した樹状細胞による消化器癌治療	井廻 道夫	消化器内科	2,000,000	補	私立大学学術研究高度化推進事業
28	ヒトの感情認知と感情生成の臨床神経心理学的研究	河村 満	神経内科	3,000,000	補	文部科学省
29	コミュニケーション機能の発達における「身体性」の役割(戦略的創造研究推進事業(CREST))	河村 満	神経内科	3,500,000	委	独立行政法人 科学技術振興機構
30	腎性骨異栄養症と異所性血管石灰化のクロストーク	秋澤 忠男	腎臓内科	1,700,000	補	文部科学省
31	脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	神 與一	整形外科	1,000,000	補	厚生労働省
32	mutant EGFR発現細胞におけるgefitinibの細胞内薬理動態の検討	安藤 浩一	第一内科	1,500,000	補	文部科学省
33	低侵襲手術との癒合を目指した新たな消化器癌センチネルリンパ節同定法の開発	草野 満夫	第二外科	900,000	補	文部科学省
34	ウィルスを標的とする発がん予防の研究	井廻 道夫	第二内科	6,000,000	補	厚生労働省

小計 17件

(注)1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行なった研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3. 「補助元又委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

1. 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元	
35	ジェノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規診断・治療法の開発	井廻 道夫	第二内科	3,000,000	補	厚生労働省
36	難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	井廻 道夫	第二内科	1,200,000	補	厚生労働省
37	感染性C型肝炎ウィルス株および感受性培養細胞ライブラリーの構築	伊藤 敬義	第二内科	2,000,000	補	厚生労働省
38	変異型ペプチドを用いた肝細胞癌に対する樹状細胞による免疫療法	江口 潤一	第二内科	1,100,000	補	文部科学省
39	院内感染防御のための臨床分離細菌の分子疫学解析	五味 邦英	臨床病理	7,000,000	補	文部科学省
40	癌抑制遺伝子p21による癌予後診断のための基礎研究	福知 邦彦	臨床病理	8,000,000	補	文部科学省
41	脳損傷における活性酸素の動態解明—gp91KOマウスを用いた基礎的検討—	土肥 謙二	救急医学科	1,300,000	補	文部科学省
42	高齢ドライバーの危険判断能力－光トポグラフィと皮膚電位反応を用いた検討－	三村 將	精神神経科	1,500,000	補	文部科学省
43	C型肝炎ウィルスによる感染B細胞内IRE依存性翻訳制御及び病原性発現機構の解析	伊藤 敬義	第二内科	1,000,000	補	文部科学省
44	消化器癌におけるインターフェロン産生キラー樹状細胞の治療効果と臨床応用	廣石 和正	第二内科	1,000,000	補	文部科学省
45	感染性C型肝炎ウィルス粒子の精製と性状の解析	森川 賢一	第二内科	1,700,000	補	文部科学省
<u>小計 17件</u>						
<u>合計</u>		<u>45件</u>	<u>138,860,000</u>			

(注)1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行なった研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3. 「補助元又委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
1	Metabolism.	M.Decreased peroxisome proliferator-activated receptor alpha gene expression is associated with dyslipidemia in a rat model of chronic renal failure.	Mori Y	第一内科
2	J Atheroscler Thromb.	Small dense low-density lipoprotein cholesterol is a useful marker of metabolic syndrome in patients with coronary artery disease.	Nozue T	第一内科
3	Clin Nephrol.	Beneficial effect of low-density lipoprotein apheresis (LDL-A) on refractory nephrotic syndrome (NS) due to focal glomerulosclerosis (FGS).	Muso E	第一内科
4	Clin Chim Acta.	Serum concentration of small dense low-density lipoprotein-cholesterol during oral glucose tolerance test and oral fat tolerance test.	Ogita K	第一内科
5	J Atheroscler Thromb.	The effects of statin and fibrate on lowering small dense LDL- cholesterol in hyperlipidemic patients with type 2 diabetes	Tokuno A	第一内科
6	Metabolism.	Marked decrease of apolipoprotein A-V in both diabetic and nondiabetic patients with end-stage renal disease.	Hirano T	第一内科
7	Am J Hypertens.	Increased human urotensin II levels are correlated with carotid atherosclerosis in essential hypertension.	Suguro T	第一内科
8	Respirology	Efficacy and safety of once-daily inhaled ciclesonide in adults with mild to moderate asthma : A double-blind, placebo-controlled study.	Adachi M	第一内科
9	Respirology	Efficacy and safety of inhaled ciclesonide compared with chlorofluorocarbon beclomethasone dipropionate in adults with moderate to severe persistent asthma	Adachi M	第一内科
10	アレルギー	Hydrofluoroalukan-Beclothesone Dipropionate と Fluticasone Propionate の喘息気道炎症と健康関連 QOL 改善に対する多施設無作為比較試験結果	足立 满	第一内科
11	J ALLERGY Clin Immunol	The IL-17F signaling pathway is involved in the induction of IMF-γ-inducible protein 10 in bronchial epithelial cells	Kawaguchi M	第一内科
12	Pharma Medica	イージー・アズマ・プログラム (EAP) のパイロット試験結果 -成人・小児気管支喘息において-	足立 满	第一内科
13	Jp J ASS INFECT DIS	教育病院におけるノロウィルス胃腸炎アウトブレイクへの対応	大西 司	第一内科
14	Respiratory Med	Comparison of salmeterol/fluticasone propionate(FP)combination with FP+sustained release theophylline in moderate asthma patients	Adachi M	第一内科
15	アレルギー	本邦における喘息のコントロールと管理の変化 - 2000年度と2005年度の喘息患者実態電話調査(AIRJ)より	足立 满	第一内科
16	Showa Univ J Med Sci	Comparison of biweekly and triweekly therapy with docetaxel and irinotecan for refractory or relapsed advanced non-small cell lung cancer	Ishida H	第一内科
17	Anticancer Res	Mutant epidermal growth factor receptor undergoes less protein degradation due to diminished binding to c-Cbl	Hosaka T	第一内科
18	Showa Univ J Med Sci	Gefitinib cytotoxicity in non-small cell lung cancer cells is enhanced by low dose cisplatin due to ligand-independent EGFR autophosphorylation	Hosaka T	第一内科

小計 18件

(注意)1. 当該医療機間に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機間に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
19	Lung Cancer	Effectiveness of intensive follow-up after response in patients with small cell lung cancer	Sugiyama T	第一内科
20	Int Arch Allergy Immunol.	Expression of interleukin-17F in a mouse model of allergic asthma.	Suzuki S	第一内科
21	Int Arch Allergy Immunol.	Differential regulation of chemokine expression by Th1 and Th2 cytokines and mechanisms of eotaxin/CCL-11 expression in human airway smooth muscle cells.	Odaka M	第一内科
22	Int Arch Allergy Immunol.	Role of RIG-I, MDA-5, and PKR on the expression of inflammatory chemokines induced by synthetic dsRNA in airway epithelial cells.	Matsukura S	第一内科
23	Clin Immunol.	Involvement of Toll-like receptors in the immune response of nasal polyp epithelial cells.	Wang J	第一内科
24	Transl Res.	Expression of angiopoietin-1 in osteoblasts and its inhibition by tumor necrosis factor-alpha and interferon-gamma.	Kasama T	第一内科
25	Diabetes	Glucose infusion in mice: a new model to induce beta-cell replication.	Alonso LC	第一内科
26	Clin Exp Allergy.	Inhibitory effects of suplatast tosilate on the differentiation and function of monocyte-derived dendritic cells from patients with asthma.	Tanaka A	第一内科
27	Hypertens Res.	The role of adrenomedullin in obstructive sleep apnea.	Minoguchi K	第一内科
28	J Physiol.	Intermittent hypoxia reverses the diurnal glucose rhythm and causes pancreatic beta-cell replication in mice.	Yokoe T	第一内科
29	Am J Respir Crit Care Med.	©Silent brain infarction and platelet activation in obstructive sleep apnea.	Minoguchi K	第一内科
30	消化と吸收	重症急性肺炎における絶飲食治療の効果 経腸栄養との比較	北村 勝哉	消化器内科
31	消化と吸收	重症急性肺炎におけるimmunonutritionの有用性	北村 勝哉	消化器内科
32	Cancer Res	RIL, a LIM gene on 5q31, is silenced by methylation in cancer and sensitizes cancer cells to apoptosis	Boumber YA	消化器内科
33	Proc Natl Acad Sci USA	Integrated genetic and epigenetic analysis identifies three different subclasses of colon cancer	Shen L	消化器内科
34	Cancer Res	Drug sensitivity prediction by CpG island methylation profile in the NCI-60 cancer cell line panel	Shen L	消化器内科
35	Gastroenterology	Rare CpG island methylator phenotype in ulcerative colitis-associated neoplasias	Konishi K	消化器内科
36	Rad Fan	肝細胞癌治療効果判定における三次元超音波検査の有用性	市川 麻樹子	消化器内科

小計 18件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
37	Rad Fan	4Dプローブによる肝腫瘍診断の有用性	佐々木 勝己	消化器内科
38	Rad Fan	次世代超音波造影剤の出現を視野に入れ、今後レボリストが担いえる役割 次世代超音波造影剤DD-723(ソナゾイド)の使用経験	佐々木 勝己	消化器内科
39	Rad Fan	肝癌治療効果判定における三次元超音波検査の有用性	佐々木 勝己	消化器内科
40	Rad Fan	三次元超音波検査の臨床応用 腹部領域における三次元超音波検査の有用性	佐々木 勝己	消化器内科
41	J Virol	The NS3 helicase and NS5B-to-3'X regions are important for efficient hepatitis C virus strain JFH-1 replication in Huh7 cells.	Murayama A	消化器内科
42	J Med Virol	The roles of CD81 and glycosaminoglycans in the adsorption and uptake of infectious HCV particles.	Morikawa K	消化器内科
43	Hepatol Res	An infectious and selectable full-length replicon system with hepatitis C virus JFH-1 strain.	Date T	消化器内科
44	Br J Cancer	Study of p53 gene alteration as a biomarker to evaluate the malignant risk of Lugol- unstained lesion with non-dysplasia in the oesophagus	Kaneko K	消化器内科
45	Oncol Rep	Interleukin-1 β gene in esophageal, gastric and colorectal carcinomas	Ito H	消化器内科
46	Hepatol Res	Restoration of innate host defense responses by oral supplementation of branched-chain amino acids in decompensated cirrhotic patients	Nakamura I	消化器内科
47	Hepato-Gastroenterol	Bleeding Index after the First Course of Endoscopic Treatment for Esophageal Varices in Liver Cirrhotic Patients with and without Hepatocellular Carcinoma	Kogo M	消化器内科
48	診断病理	胃MALTリンパ腫の組織学的治療効果判定に関する検討	野呂 瀬朋子	消化器内科
49	癌と化学療法	食道癌患者における化学放射線療法 Cisplatin/FluorouracilおよびNedaplatin/Fluorouracilのマルコフモデルを用いた薬剤経済学的検討	戸村 和希	消化器内科
50	Dig Dis Sci	Scoring System for Predicting Response to Chemoradiotherapy, Including 5-Fourouracil and Platinum, for Patients with Esophageal Cancer	Kogo M	消化器内科
51	昭和医会誌	多発性骨髄腫における血管新生とCOX-2発現の免疫組織学的検討	下間 順子	血液内科
52	昭和医会誌	【最近の血液疾患診療の動向】鉄に関する最近の知見	友安 茂	血液内科
53	昭和医会誌	【最近の血液疾患診療の動向】血液疾患における同種造血幹細胞移植の適応について	柳沢 孝次	血液内科
54	昭和医会誌	【最近の血液疾患診療の動向】多発性骨髄腫に関する最近の知見	松田 功	血液内科

小計 18件

- (注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
55	昭和医会誌	【最近の血液疾患診療の動向】悪性リンパ腫	齋藤 文護	血液内科
56	昭和医会誌	【最近の血液疾患診療の動向】白血病に関する最近の知見	中牧 剛	血液内科
57	Pathol Int.	Histopathology of bone marrow reconstitution after umbilical cord blood transplantation for hematological diseases.	Maeda T	血液内科
58	Leukemia.	Rituximab with chemotherapy improves survival of non-germinal center type untreated diffuse large B-cell lymphoma	B Saito	血液内科
59	Showa Univ J Med Sci	Acute myeloid leukemia (AML) patients with an internal tandem duplication mutation in the fetal liver tyrosine kinase-3 (FLT3/ITD) gene express CD117 (C-kit)	Adachi D	血液内科
60	心臓リハビリテーション	急性冠症候群における糖代謝異常の重要性と心臓リハビリテーションの効果	角田 史敬	第三内科
61	Showa Univ J Med Sci	Effect of Smoking on Coronary Flow Velocity Reserve and Arterial Stiffness in Healthy Young Men	Kawamura T	第三内科
62	Int J Cardiol	Bone marrow cells contribute to neointimal formation after stent implantation in swine	Soda T	第三内科
63	Circulation	Impact of Salusin- α and - β on Human Macrophage Foam Cell Formation and Coronary Atherosclerosis	Watanabe T	第三内科
64	Jpn J Interv Cardiol	右冠動脈入口部病変に対するシロリムス溶出ステントの治療成績の検討	櫻井 将之	第三内科
65	J Cardiol Jpn Ed	透析症例におけるシロリムス溶出性ステントの臨床成績：非透析症例との比較検討	武藤 光範	第三内科
66	Int Heart J	Coronary Arterial Plaque Characterized by Multislice Computed Tomography Predicts Complications Following Coronary Intervention	Kinohira Y	第三内科
67	Showa Univ J Med Sci	Elevated Small Dense Low-density Lipoprotein Cholesterol Concentration as a Promising Risk Marker for Severe Stable Coronary Heart Disease, Independently of Adiponectin and C-reactive Protein	Yokota Y	第三内科
68	昭和医会誌	初回急性心筋梗塞における心筋重量の臨床病態と予後に及ぼす影響	江 修博	第三内科
69	Showa Univ J Med Sci	Effect of Nifekalant Injected into the Pericardial Space on the Transmural Dispersion of Repolarization in Pig	Ito H	第三内科
70	Int J Cardiol	Bone marrow cells contribute to neointimal formation after stent implantation in swine	Soda T	第三内科
71	心臓リハビリテーション	急性冠症候群における糖代謝異常の重要性と心臓リハビリテーションの効果	角田 史敬	第三内科
72	冠疾患誌	梗塞責任冠動脈への再血流再建術を予測する危険因子に関する検討	近藤 武志	第三内科

小計 18件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
73	Showa Univ J Med Sci	Effect of smoking on coronary flow velocity reserve and arterial stiffness in healthy young men	Kawamata T	第三内科
74	Circulation	Impact of Salusin- α and - β on Human macrophage foam cell formation and coronary atherosclerosis	Watanabe T	第三内科
75	心電図	不整脈源組織と細胞形態 -カテーテルアブレーション例を中心に-	井上 純	第三内科
76	田原通信	正常心筋と刺激伝導系の病理-静脈心房接合部の組織形態-	井上 純	第三内科
77	ICUとCCU	当院CCUにおけるAMIの現状	酒井 哲郎	第三内科
78	J Cardiol	Combination Therapy of Renin Angiotensin System Inhibitors and Bepridil Is Useful for Maintaining Sinus Rhythm in Patients With Atrial Fibrillation	Kawamura M	第三内科
79	Atherosclerosis	Remarkable increase of apolipoprotein B48 level in diabetic patients with end-stage renal disease	Hayashi T	第三内科
80	医学と薬学	Small dense LDLコレステロールキットによる家族性複合型高脂血症診断の評価	平野 勉	第三内科
81	血圧	本態性高血圧治療におけるロサルタンと少量サイアザイド系利尿薬併用療法の有用性について -Ca拮抗薬効果不十分例における検討-	下司 映一	第三内科
82	Eue J Clin Invest	Elevation of matrix metalloproteinases and interleukin-6 in the culprit coronary artery of myocardial infarction	Suzuki H	第三内科
83	心電図	心房細動の洞調律維持におけるカンデサルタンとベブリジルの有効性の検討	河村 光晴	第三内科
84	Jpn J Electrocardiology	若年神経調節性失神患者の圧受容体反射は、コントロール群に比較して高い	小貫 龍也	第三内科
85	Int Heart J	④Coronary arterial plaque characterized by multislice computed tomography predicts complications following coronary intervention	Kinohira Y	放射線科
86	AJR	Cement Leakage During Vertebroplasty Can Be Predicted on Preoperative MRI	Hiwatashi A	放射線科
87	Eur Radiol	Diffusion tensor MR imaging of the cervical spinal cord in patients with multiple sclerosis	Ohgiya Y	放射線科
88	J Artif Organs	Stent graft treatment for thoracic and thoracoabdominal aortic disease using a unibody Z-stent that adapts to flexure	Aiba M	放射線科
89	日画像医誌	CT尿路造影における尿管描出の検討：経静脈的および経口的水負荷の比較	新城 秀典	放射線科
90	Radiographics	MR Ductography : Comparison with Conventional Ductography as a Diagnostic Method in Patients with Nipple Discharge	Hirose M	放射線科

小計 18件

- (注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
91	Br J Dermatol	The diagnosis of a DRESS syndrome has been sufficiently established on the basis of typical clinical features and viral reactivations	Shiohara T	皮膚科
92	Br J Dermatol	Association of human herpesvirus 6 reactivation with the flaring and severity of drug-induced hypersensitivity syndrome	Tohyama M	皮膚科
93	医薬品研究	重篤副作用疾患別対応マニュアル（皮膚疾患）	渡辺秀晃	皮膚科
94	Showa Univ J Med Sci	In situ hybridization (ISH) analysis for human papillomavirus (HPV) infection in Bowen's disease, Bowen carcinoma and Bowenoid papulosis of the skin	Hamada K	皮膚科
95	J Dermatol	Vascular endothelial growth factor receptor tyrosine kinase inhibitor PTK787/ZK 222584 inhibits both the induction and elicitation phases of contact hypersensitivity	Yamamoto A	皮膚科
96	Br J Dermatol	Chromosomal integration of human herpesvirus 6 DNA in anticonvulsant hypersensitivity syndrome	Watanabe H	皮膚科
97	Showa Univ J Med Sci	In situ hybridization (ISH) analysis for human papillomavirus (HPV) infection in Bowen's disease, Bowen carcinoma and Bowenoid papulosis of the skin	*Hamada K	皮膚科
98	Psychogeriatrics	Differentiating early and late-depression with multichannel near-infrared spectroscopy	Yamagata B	精神科
99	Psychoneuroendocrinology	Longitudinal neuroendocrine changes assessed by dexamethasone/CRH and growth hormone releasing hormone tests in psychotic depression	Owashi T	精神科
100	臨床精神医学	統合失調症における思考障害と遂行機能	尾鷲 登志美	精神科
101	臨床精神薬理	統合失調症における抗不安薬処方について-精神科病院における抗不安薬処方の実態-	尾鷲 登志美	精神科
102	脳と精神の医学	健常者におけるデキサメタゾン・CRH負荷試験-日本人におけるデキサメタゾン適正用量の検討-	尾鷲 登志美	精神科
103	精神科	電気けいれん療法を施行した大うつ病性障害患者の特徴	尾鷲 登志美	精神科
104	精神医学	継続的疫学研究からみたPTSDの転帰-慢性化を巡って	尾鷲 登志美	精神科
105	Cognitive and Behavioral Neurology	Impairment of decision-making cognition in a case of frontotemporal lobar degeneration (FTLD) presenting with pathologic gambling and hoarding as the initial symptoms.	Nakaaki S	精神科
106	Alcoholism:Clinical and Experimental Research	Altered brain activation by a false recognition task in young abstinent patients with alcohol dependence.	Akine Y	精神科
107	Growth Hormone and IGF Research 2007	Use of serum insulin-like growth factor-I levels to predict psychiatric non-response to donepezil in patients with Alzheimer's disease.	Tei E	精神科
108	Psychiatry and Clinical Neurosciences	Symptom dimensions and needs of care among patients with schizophrenia in hospital and the community.	Nakanishi M	精神科

小計 18件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
109	認知リハビリテーション2007	被験者実演課題がアルツハイマー病患者の記憶に及ぼす影響	小林 仁美	精神科
110	Movement Disorder 2007	Decision making in Parkinson's disease: Analysis of behavioral and physiological patterns in the Iowa gambling task	Kobayakawa M	精神科
111	Neuropsychiatric Disease and Treatment	Effect of high-dose milnacipran in patients with depression	Hayashi M	精神科
112	臨床精神薬理	うつ病患者におけるparoxetineからfluvoxamineへの切り替えの有用性検討	篠原 学	精神科
113	Keio Journal of Medicine	Frégoli syndrome accompanied with prosopagnosia in a woman with a 40-year history of schizophrenia.	Moriyama Y	精神科
114	Dementia and Geriatric Cognitive Disorder	Validation of the 7-minute screen for the detection of early-stage Alzheimer's disease.	Ijuin M	精神科
115	International Journal of Psychophysiology	Gender differences in lateralization of mismatch negativity in dichotic listening tasks.	Ikezawa S	精神科
116	International Geriatric Psychiatry	Changes in regional cerebral blood flow following antidepressant treatment in late-life depression.	Ishizaki J	精神科
117	Journal of Affective Disorder	Executive dysfunction in medicated, remitted state of major depression.	Nakano Y	精神科
118	International Psychogeriatrics	Association between apathy/depression and executive function in patients with Alzheimer disease.	Nakaaki S	精神科
119	精神医学	大うつ病性障害の入院治療転帰と甲状腺機能との関連	尾鷲 登志美	精神科
120	精神科	電気けいれん療法を施行した大うつ病性障害患者の特徴	尾鷲 登志美	精神科
121	Psychological Reports	The patient health questionnaire, Japanese version: Validity according to the Mini-International Neuropsychiatric Interview-Plus.	Muramatsu K	精神科
122	Psychoneuroendocrinology	Longitudinal neuroendocrine change assessed by dexamethasone/ CRH and growth hormone releasing hormone tests in psychotic depression.	Owashi T	精神科
123	J Psychiat Res	Relationship of DEX/CRH and GHRH test results to the outcome of depression- Preliminary results suggest the GHRH test may predict relapse after discharge.	Owashi T	精神科
124	財団法人井の頭病院研究紀要	統合失調症激越状態に対する risperidone, olanzapine, haloperidol, quetiapineの頓服使用の効果比較試験(ROHQ試験)	吉村 直記	精神科
125	Psychiatry Res	Abnormal glucose metabolism in the anterior cingulate cortex in patients with schizophrenia.	Fujimoto T	精神科
126	Biol Trace Elem Res	Cadmium, lead, and selenium in cord blood and thyroid hormone status of newborns.	Iijima K	精神科

小計 18件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
127	Clin Neurophysiol	Electrophysiological abnormalities of spatial attention in adults with autism during the gap overlap task.	Kawakubo Y	精神科
128	J Hum Genet	Paroxysmal kinesigenic choreoathetosis (PKC): confirmation of linkage to 16p11-q21, but unsuccessful detection of mutations among 157 genes at the PKC-critical region in seven PKC families.	Kikuchi T	精神科
129	Neuroscience	Glucocorticoid receptor activation is involved in producing abnormal phenotypes of single-prolonged stress rats: A putative post-traumatic stress disorder model.	Kohda K	精神科
130	Neurosci Res	Multiple-time replicability of near-infrared spectroscopy recording during prefrontal activation task in healthy men.	Kono T	精神科
131	Brain Dev	Tachykinin 1 (TAC1) gene SNPs and haplotypes with autism: a case-control study.	Marui T	精神科
132	Biol Psychiatry	No association between the neuronal pentraxin II gene polymorphism and autism.	Marui T	精神科
133	Bipolar Disord	A near-infrared spectroscopy study of prefrontal cortex activation during a verbal fluency task and carbon dioxide inhalation in individuals with bipolar disorder.	Matsuo K	精神科
134	Psychiatr Genet	Association study between the cholecystokinin A receptor gene and schizophrenia in the Japanese population.	Minato T	精神科
135	Environ Res	Thyroid hormone status of newborns in relation to in utero exposure to PCBs and hydroxylated PCB metabolites.	Otake T	精神科
136	J Neurosci Res	Enhanced autophagic cell death in expanded polyhistidine variants of HOXA1 reduces PBX1-coupled transcriptional activity and inhibits neuronal differentiation.	Paragusion RC	精神科
137	Neurosci Res	Temporospatial patterns of COX-2 expression and pyramidal cell degeneration in the rat hippocampus after trimethyltin administration.	Shirakawa T	精神科
138	Psychiatry Clin Neurosci	Moral judgment in high-functioning pervasive developmental disorders.	Takeda T	精神科
139	Prog Brain Res	Adult neurogenesis and systemic adaptation: animal experiments and clinical perspectives for PTSD.	Takemura NU	精神科
140	Pharmacogenet Genomics	Association study of monoamine oxidase and catechol-O-methyltransferase genes with smoking behavior.	Tochigi M	精神科
141	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Gene	Association study between the TNXB locus and schizophrenia in a Japanese population.	Tochigi M	精神科
142	Neurosci Res	Perinatal bisphenol A affects the behavior and SRC-1 expression of male pups but does not influence on the thyroid hormone receptors and its responsive gene.	Xu X	精神科
143	Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci	Reduced planum temporale volume and delusional behaviour in patients with schizophrenia.	Yamasaki S	精神科
144	Ann Neurol	Human brain structural change related to acute single exposure to sarin.	Yamasue H	精神科

小計 18件

(注意) 1. 当該医療機間に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機間に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
145	Brain Res Bull	Influence of age or circadian time on bcl-2 and bax mRNA expression in the rat hippocampus after corticosterone exposure.	Yoshimura A	精神科
146	Int J Neuropsychopharmacol	Mitochondrial DNA-dependent effects of valproate on mitochondrial calcium levels in transmtochondrial cybrids.	Kazuno AA	精神科
147	Mol Psychiatry	Aberrant DNA methylation associated with bipolar disorder identified from discordant monozygotic twins.	Kuratomi G	精神科
148	Neurosci Res	Gene expression profiling of major depression and suicide in the prefrontal cortex of postmortem brains	Tochigi M	精神科
149	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	Birth months and vulnerability to juvenile delinquency.	Ohtani T	精神科
150	精神医学	統合失調症患者の発病前知能推定に関する日本語版 National Adult Reading Test (JART)短縮版妥当性の検討。	植月 美希	精神科
151	Cancer Genomics & Proteomics	The N-terminal 15-48 region of cyclin kinase inhibitor p21 is a determinant of basal expression	Nomura N	臨床病理科
152	昭和医会誌	新規親水性ゼラチン粒子を用いた免疫学的測定法の固相に関する研究	池田 幹雄	臨床病理科
153	環境感染	インフルエンザワクチン接種後のHI抗体価の検討	板谷 一宏	臨床病理科
154	日本気胸囊胞性肺疾患学会誌	検診で発見された自然気胸症例の検討	門倉 光隆	胸部心臓血管外科
155	日内視鏡外会誌	WebカメラとNote PCを用いたポータブル内視鏡下手術トレーニングシステム	山本 滋	胸部心臓血管外科
156	Dis Colon Rectum	Quality of life after low anterior resection and temporary loop ileostomy	Tsunoda A	消化器一般外科・乳腺外科
157	Qual Life Res	Validation of the Japanese version of EORTC QLQ-CR38	Tsunoda A	消化器一般外科・乳腺外科
158	Oncology	Phase I study of S-1 combined with irinotecan (CPT-11) in patients with advanced colorectal cancer	Tsunoda A	消化器一般外科・乳腺外科
159	Dig Surg	Sentinel node mapping guided by indocyanine green fluorescence imaging: a new method for sentinel node navigation surgery in gastrointestinal cancer.	Kusano M	消化器一般外科・乳腺外科
160	Int Surg	Cyst wall resection and ablation by hand-assisted laparoscopic surgery combined with argon plasma coagulator for huge hepatic cysts.	Aoki T	消化器一般外科・乳腺外科
161	Hepatol Res	Microencapsule technique protects hepatocytes from cryoinjury.	Kusano T	消化器一般外科・乳腺外科
162	J Surg Res	Hepatocyte transplantation from steatotic liver in a rat model.	Hayashi K	消化器一般外科・乳腺外科

小計 18件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
163	Cell Transplant.	Long-term maintenance of the drug transport activity in cryopreservation of microencapsulated rat hepatocytes.	Koizumi T	消化器一般外科・乳腺外科
164	Br J Cancer	Differences in the histological findings, phenotypic marker expressions and genetic alterations between adenocarcinoma of the gastric cardia and distal stomach.	Tajima Y	消化器一般外科・乳腺外科
165	日本消化器外科学会雑誌	術後在院日数4日間の回腸瘻閉鎖クリニカルパス	成田 和広	消化器一般外科・乳腺外科
166	日本消化器外科学会雑誌	大腸癌術後早期経口摂取を目的とした超音波検査によるgastric emptyingの評価	古泉 友文	消化器一般外科・乳腺外科
167	外科治療	LED励起ICG蛍光video navigation systemを用いた新しい肝区域同定法	青木 武士	消化器一般外科・乳腺外科
168	外科	Body mass index(BMI)による肥満と大腸癌クリニカルパス	保田 尚邦	消化器一般外科・乳腺外科
169	J Pediatr Surg	Hepaticojejunostomy and intrahepatic cystojejunostomy for type IV-A choledochalcyct.	Urushihara .N	小児外科
170	Pediatr Surg Int	Glicentin inhibits internalization of enteric bacteria by cultured INT-407enterocytes	Chiba.M	小児外科
171	小児外科	小児NSTにおける看護師の役割—短腸症候群児の在宅栄養管理に向けて—	戸井 博子	小児外科
172	小児外科	小児鼠径ヘルニアの超音波診断法	土岐 彰	小児外科
173	小児外科	大学病院におけるNSTの活動方法：ブロック方式	土岐 彰	小児外科
174	小児外科	腸回転異常症の長期フォローアップ	八塚 正四	小児外科
175	Pediatr Surg Int	Colorectal screening with single scan CT colonography in children	Sugiyama A	小児外科
176	Endocr J	Deterioration of glycemic control during octreotide LAR treatment in an acromegalic Japanese patient with type 2 diabetes mellitus.	Kahara T	脳神経外科
177	ホルモンと臨床	GH産生下垂体腺腫におけるVEGF発現について—術前治療群と非治療群との比較—	黒崎 雅道	脳神経外科
178	GERIATRIC NEUROSURGERY	高齢者悪性神経膠腫に対するTemozolomideの使用経験の検討	泉山 仁	脳神経外科
179	Acta Neurochir (Wien)	Rathke's cleft cysts: differentiation from other cystic lesions in the pituitary fossa by use of single-shot fast spin-echo diffusion-weighted MR imaging	Kunii N	脳神経外科
180	Clin Chem Lab Med	High free serum acrolein levels in bacterial infection and other disease states associated with oxidative stress: A potential biomarker?	Gugliucci A	脳神経外科

小計 18件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものと記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
181	Prenatal Diagnosis	Cell-free mRNA concentrations of CRH, PLAC1, and selectin-P are increased in the plasma of pregnant women with preeclampsia.	Purwosunu Y	産婦人科
182	Clinical Chemistry	Cell-free mRNA concentrations of plasminogen activator inhibitor-1 and tissue-type plasminogen activator are increased in the plasma of pregnant women with preeclampsia	Purwosunu Y	産婦人科
183	Int J Gynecol Pathol	The Role of p53 Mutation in the Carcinomas Arising from Endometriosis	Akahane T	産婦人科
184	Prenatal Diagnosis	Performance of a panel of maternal serum markers in predicting preeclampsia at 11-15 weeks' gestation	Banzo I	産婦人科
185	Ultrasound Obstet Gynecol	Prospective evaluation of the risk of pre-eclampsia using logistic regression analysis	Simonazzi G	産婦人科
186	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol	PLAC1 mRNA levels in maternal blood at induction of labor correlate negatively with induction-delivery interval	Rizzo N	産婦人科
187	Ultrasound Obstet Gynecol	Application of high-intensity focused ultrasound for umbilical cord occlusion in a rabbit model	Ichizuka K	産婦人科
188	J Assist Reprod Genet.	Reduction of connexin 43 in human cumulus cells yields good embryo competence during ICSI	Hasegawa J	産婦人科
189	Fetal Diagn	Umbilical Cord Insertion to the Lower Uterine Segment is Risk Factor for Vasa Previa	Hasegawa J	産婦人科
190	Infant Behavior & Development	Spontaneous Smile and spontaneous laugh An intensive longitudinal case study	Kawakami K	産婦人科
191	Obstet Gynecol	Placenta-Derived, Cellular Messenger RNA Expression in the Maternal Blood of Preeclamptic Women	Okazaki S	産婦人科
192	Arch Gynecol Obstet.	Recombinant human lactoferrin has a potential to suppresses uterine cervical ripening in preterm delivery in animal model	Yakuwa K	産婦人科
193	Fertil Steril	High Concentrations of Lactoferrin in the Follicular Fluid Correlate with Embryo Quality during IVF Cycles	Yanaihara A	産婦人科
194	Reprod Med Biology.	Sperm retention site and its influence on pronucleus stage evaluation following intracytoplasmic sperm injection	Negishi M	産婦人科
195	Fertil Steril.	High Concentrations of Lactoferrin in the Follicular Fluid Correlate with Embryo Quality during IVF Cycles	Yanaihara A	産婦人科
196	Reprod Med Biology.	Clinical outcomes of two different endometrial preparation methods (natural cycle versus hormone-replacement cycle) for cryopreserved-thawed embryo transfer in patients with a normal menstrual cycle.	Kawamura T	産婦人科
197	Cancer.	Detection of circulating urothelial cancer cells in the blood using the CellSearch System	Naoe M	産婦人科
198	J Exp Clin Assist Reprod.	Monozygotic multiple gestation following in vitro fertilization: analysis of seven cases from Japan.	Yanaihara A	産婦人科

小計 18件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
199	The New England Journal of Medicine	Normal production of human chorionic gonadotropin in menopause	Cole LA	産婦人科
200	日産婦誌	母体血を用いた無侵襲的な胎児遺伝子診断法研究の進歩	関沢 明彦	産婦人科
201	日産婦誌	強出力集束超音波(HIFU)を用いた栄養血管閉塞による子宮筋腫の低侵襲治療	市塚 清健	産婦人科
202	日産婦誌	多児妊娠の予防と管理	岡井 崇	産婦人科
203	思春期学	2次性微発現異常の診療 女子を中心に 一思春期発来機序ー	長塚 正晃	産婦人科
204	周産期新生児誌	新生児早期における吸引処置の有用性.	中島 陽子	産婦人科
205	女性心身医学	認知療法と精神分析的精神療法	平島 奈津子	産婦人科
206	日受着会誌	女性の喫煙が生殖補助医療の臨床成績に及ぼす影響について	依光 毅	産婦人科
207	日受着会誌	2種類のインキュベーターの開閉時庫内温度・湿度変化と、胚発育の検討	菅 かほり	産婦人科
208	日受着会誌	Day6胚の有効性の検討ー初期胚の評価からー	水島 志歩	産婦人科
209	日受着会誌	初回Gonadotropin-releasing hormone (GnRH) agonistによる体外受精胚移植不成功例に対するGnRH antagonistの有効性に関する検討	許山 浩司	産婦人科
210	日本哺乳動物卵子学会誌	A R Tによる先天異常のリスク	宮 香織	産婦人科
211	日本哺乳動物卵子学会誌	当院の培養液の選択について	渡邊 英明	産婦人科
212	日産婦神奈川地方会誌	先天性不振症候群発生予防のためのアンケート調査報告神奈川県産科婦人科医会異常分娩・先天異常対策部	奥田 美加	産婦人科
213	昭和医会誌	イソフラボンのヒト子宮内膜癌細胞株増殖能に対する効果	宮本 真豪	産婦人科
214	胸部外科	急性A型大動脈解離手術における経心尖部上行大動脈送血	和田 真一	リハビリテーション科
215	Jpn J Rehabili Med	急性期病院の相違による回復期リハビリテーション病棟・脳卒中患者の調査ー地域完結型と病院完結型との比較ー	北川 寛直	リハビリテーション科
216	日脊髄障害医会誌	ベンチレータ依存型高位頸髄損傷患者在宅介護の問題点ー自宅復帰したケースの在宅療養10年間よりー	笠井 史人	リハビリテーション科

小計 18件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
217	神奈川整災外会誌	脳梗塞による仮性球麻痺を合併した頸椎前縦靭帯骨化症の嚥下障害を呈した1症例	前川 勝彦	リハビリテーション科
218	運動療物理療	姿勢による頸椎の動きの相違に関するX線学的検討 二次元動作分析装置を用いて	谷本 幸洋	リハビリテーション科
219	日在宅医会誌	在宅で施行した心大血管リハビリテーション経験	諸富 伸夫	リハビリテーション科
220	慢性疼痛	神経ブロックを中心とした治療により症状が軽快したCRPSの一例	西木 戸修	麻酔科
221	日美外報	ヒトプラセンタが創傷治癒に及ぼす影響の基礎的研究	網倉 良安	形成外科
222	瘢痕・ケロイド治療ジャーナル	前胸部ケロイドに対する穿通枝皮弁を用いた外科治療	渡邊 英孝	形成外科
223	瘡瘍会誌	再発を繰り返す坐骨部禍瘍に対するcontralateral posterior thigh flapの経験	三川 信之	形成外科
224	日頭頸顎会誌	口唇・口蓋裂における合併先天異常の統計学的考察	藤村 大樹	形成外科
225	日本マイクロ会誌	移植床条件によるうつ血皮弁生着の変化	田邊 毅	形成外科
226	日本マイクロ会誌	microdissectionによる鼠径皮弁の問題点とその対策	斎藤 昌美	形成外科
227	形成外科	Nuss 法の中期合併症と対策	浜島 昭人	形成外科
228	形成外科	人工真皮とbFGF製剤を併用した手指・手掌の皮膚および爪床欠損の治療経験	飯田 直成	形成外科
229	J. Craniofac. Surg.	Clinical success of mandibular distraction for obstructive sleep apnea resulting from micrognathia in 10 consecutive Japanese young children	Mitsukawa N	形成外科
230	PLAST RECONSTR SURG	The Place of Chemical Leeching with Heparin in Digital Replantation: Subcutaneous Calcium Heparin for Patients Not Treatable with Systemic Heparin	Yokoyama T	形成外科
231	日形会誌	CO2レーザー照射後人工皮膚モデルの組織再生に関する基礎研究	本田 衣麗	形成外科
232	J. Craniofac. Surg.	Auricular protection after ear surgery using a door knob cover	Mitsukawa N	形成外科
233	産婦人科の実際	下顎形成不全、小顎症	門松 香一	形成外科
234	あたらしい眼科	耳介軟骨を用いた下眼瞼の形態的、機能的再建	丸山 直樹	形成外科

小計 18件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものと記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
235	あたらしい眼科	前頭神経から生じた神經鞘腫の1例	松下 浩和	形成外科
236	日形会誌	大腿前面に発生した巨大筋肉内脂肪腫の1例	本田 衣麗	形成外科
237	日形会誌	表在性皮膚腫瘍表面構造のフラクタル次元解析	村松 英俊	形成外科
238	日形会誌	篩骨洞癌の治療経験	藤田 幸代	形成外科
239	PEPARS	縫合の基本手技 皮膚切開、剥離	土佐 泰祥	形成外科
240	PEPARS	「骨欠損への対応 骨・人工骨移植、骨延長・再生」 骨延長の適応とコツ 上・下顎領域	三川 信之	形成外科
241	形成外科	肘頭骨移植による鼻再建の有用性について	宮地 有理	形成外科
242	日形会誌	鼻中隔鼻尖形成術による唇裂鼻形成	大久 保文雄	形成外科
243	瘢痕・ケロイドジャーナル	肥厚性瘢痕・ケロイドの分類と治療	土佐 泰祥	形成外科
244	形成外科	[手足先天異常症の治療]われわれが行っている合指(趾)症の手術法	西村 二郎	形成外科
245	瘢痕・ケロイド治療ジャーナル	プロペラ型穿通枝皮弁 (Propeller flap) を用いたケロイド、瘢痕に対する新しい再建術式	増本 和之	形成外科
246	形成外科	自家脂肪注入によるsoft tissue augmentation	清水 祐紀	形成外科
247	形成外科	当科における眼瞼皮膚欠損の検討	飯田 直成	形成外科
248	Ophthalmic Res	Effect of lipid hydroperoxide-induced oxidative stress on vitamin E, ascorbate and glutathione in rabbit retina	Kamegawa M	眼科
249	Showa Univ J Med Sci	Inhibitory Effects of Tea Catechins on Lipid Peroxidation induced by Rose Bengal and Blue Light exposure in Porcine Retinal Homogenate.	Nakanishi-Ueda T	眼科
250	Am J Physiol Heart Circ Physiol	Characteristics of myogenic tone in the rat ophthalmic artery	Ito I	眼科
251	眼薬理	ピオグリタゾンによる高脂肪および蔗糖負荷高血圧高脂血症自然発症ラット硝子体中のMMP-9活性改善効果	須田 考一	眼科
252	眼科手術	結膜囊内常在菌の季節・年齢性	平松 類	眼科

小計 18件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
253	J Clin Biochem Nutr	Effects of Green Tea Fractions on Oxygen-Induced Retinal Neovascularization in the Neonatal Rat	Saito Y	眼科
254	IOL & RS	眼内レンズ挿入術の適応についてのアンケート調査	稻富 誠	眼科
255	IOL & RS	小児(15歳以下)眼内レンズ挿入症例の遠隔成績	稻富 誠	眼科
256	J Cataract Refract Surg	Ophthalmic solution ingredients permeate and damage acrylic intraocular lenses.	Ayaki M	眼科
257	Journal of Pharmacological Sciences	Effect of a Dihydrobenzofuran Derivative on Lipid Hydroperoxide-Induced Rabbit Corneal Neovascularization	Ogura H	眼科
258	昭和医学会雑誌	ブタ水晶体上皮細胞を用いた紫外線傷害モデルの検討	玉井 裕子	眼科
259	眼科	私の経験 新しい臨床研修制度における眼科志向者の現況	綾木 雅彦	眼科
260	Int J Urol	Effecacy of primary hormonal therapy for patients with localized and locally advanced prostate cancer: A retrospective multicenter study	Ueno S	泌尿器科
261	Int J Urol	Practice patterns regarding prostate cancer and benign prostate hyperplasia in Japanese primary care practitioners	Fukagai T	泌尿器科
262	Int J Urol	Bacillus Calmette-Guerin-pulsed dendritic cells stimulate natural killer T cells and γδT cells	Naoe M	泌尿器科
263	BJU Int	Comparison of the clinical outcome after hormonal therapy for prostate cancer between Japananease and Caucasian men.	Fukagai T	泌尿器科
264	BJU Int	Grobal update on definding and treating high-risk localized prostate cancer with leuprorelin: an Asian perspective.	Mizokami A	泌尿器科
265	昭和医学会雑誌	造精機能の評価における精液inhibin B濃度測定の有用性	齋藤 克幸	泌尿器科
266	昭和医学会雑誌	未治療前立腺癌患者における骨動態の検討	永田 将一	泌尿器科
267	昭和医学会雑誌	前立腺癌に対する内分泌治療の有効性と予後因子に関する検討	首藤 直樹	泌尿器科
268	日泌尿会誌	精巣腫瘍患者の非腫瘍側精巣にみられた超音波断層法による精巣内微小石灰化症と Carcinoma in situ の関連性について	七条 武志	泌尿器科
269	日本性機能学会雑誌	Relationship between testicular function and testicular volume by Prader orchidometric measurements	Sakamoto H	泌尿器科
270	日本性機能学会雑誌	精液減少を主訴とした先天性両側精管欠損症の1例および不妊症を主訴とした先天性両側精管欠損症の臨床経験	坂本 英雄	泌尿器科

小計 18件

(注意) 1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
271	J Immunology	TNF- α Drives Human CD14+ Monocytes to Differentiate into CD70+ Dendritic Cells Evoking Th1 and Th17 Responses	Iwamoto S	泌尿器科
272	臨床泌尿器科	精索靜脈瘤手術—高位結紉術および顕微鏡下低位結紉術—	坂本 英雄	泌尿器科
273	Human Gene Therapy	Long-Term Outcome of Phase I / II Clinical Trial of Ad-OC-TK/VAL Gene Therapy for Hormone-Refractory Metastatic Prostate Cancer	Shirakawa T	泌尿器科
274	日本臨牀	前立腺癌 一基礎・臨床研究のアップデートー II. 臨床研究 治療 その他の治療および治療関係諸問題 ビスホスホネート療法	深貝 隆志	泌尿器科
275	泌尿器科外科	大豆と日本人と前立腺癌	直江 道夫	泌尿器科
276	south med J	Rprevention of Adverse Effects of BCG Immunotherapy in Bladder Cancer	Naoe M	泌尿器科
277	south med J	Use of the CellSearch Assay for Monitoring Urothelial Cancer: Two Case Reports of Metastatic Urothelial Cancer	Naoe M	泌尿器科
278	Urology	Relationship Between Testicular Volume and Varicocele in Patients With Infertility	Sakamoto H	泌尿器科
279	Urology	Effects of Varicocele Repair in Adults on Ultrasonographically Determined Testicular Volume and on Semen Profile	Sakamoto H	泌尿器科
280	Asian J Androl	Relationship between testicular volume and testicular function: comparison of the Prader orchidometric and ultrasonographic measurements in patients with infertility	Sakamoto H	泌尿器科
281	Int J Urol	Cystic fibrosis transmembrane conductance regulator (CFTR) gene mutation associated with a congenital bilateral absence of vas deferens	Sakamoto H	泌尿器科
282	Am J Kidney Dis	Minimodeling reduces the rate of cortical bone loss in patients with secondary hyperparathyroidism	Yajima A	泌尿器科
283	Nephrol Dial Transplant	Significance of time-course changes of serum bone markers after parathyroidectomy in patients with uremic hyperparathyroidism.	Yajima A	泌尿器科
284	耳鼻臨床	急性喉頭蓋炎50例の臨床的検討	海山 智九	耳鼻咽喉科
285	日職災誌	頭部外傷後、遅発性に様々な機能障害を呈した例	野垣 岳稔	耳鼻咽喉科
286	耳鼻臨床	経過観察した聴神経腫瘍症例の検討	野垣 岳稔	耳鼻咽喉科
287	川崎市医師会誌	急性喉頭蓋炎の入院症例について	寶地 信介	耳鼻咽喉科
288	日気食会報	急性喉頭蓋炎の臨床的検討	寶地 信介	耳鼻咽喉科

小計 18件

(注意)1. 当該医療機間に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機間に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
289	日鼻誌	スギ花粉症における第2世代抗ヒスタミン薬の臨床効果-多施設、3カ年による初期治療と発症後治療の検討	藤枝 重治	耳鼻咽喉科
290	第24回頭頸部自律神経研究会記録集	鼻蓋上皮細胞におけるToll-like receptorを介する細胞外マトリックス分解酵素の産生について	渡邊 莊	耳鼻咽喉科
291	日耳鼻	突発性難聴に対する副腎皮質ホルモン・高压酸素療法併用療法の治療成績	川俣 光	耳鼻咽喉科
292	Showa Univ J Med Sci	Theaflavin-3, 3'-digallate inhibits tube formation in cocultured endothelial cells with fibroblasts	Kobayasi S	耳鼻咽喉科
293	日鼻誌	炎症細胞浸潤の観点から検討した慢性副鼻腔炎の病態	古田 厚子	耳鼻咽喉科
294	Clin Immunol	Involvement of Toll-like receptors in the immune response of nasal polyp epithelial cells	Wang J	耳鼻咽喉科
295	J Pharm Pharmacol	Suppressive activity of fexofenadine hydrochloride on nitric oxide production in-vitro and in-vivo	Asano K	耳鼻咽喉科
296	in vivo	Changes of glucocorticoid receptor expression in the nasal polyps of patients with chronic sinusitis following treatment with glucocorticoid	Watanabe S	耳鼻咽喉科
297	in vivo	Suppressive activity of epinastine hydrochloride on eosinophil activation in vitro	Mochizuki Y	耳鼻咽喉科
298	Neurosci Res	Increased mitochondrial DNA oxidative damage after transient middle cerebral artery occlusion in mice	Dohi K	救急医学科
299	Showa Univ J Med Sci	Effect of Tap Water, Orange Juice and Milk on Surface Temperature and pH of Deoxygenates and Desiccants in Artificial Stomach Fluid	Aruga T	救急医学科
300	13th European Congress of Neurosurgery	A Multi-Center Comparative Study of Glasgow Coma Scale and Emergency Coma Scale-Intermediate Report	Aruga T	救急医学科
301	日本旅行医学会学会誌	都市型災害と災害医療	山本 武史	救急医学科
302	神経外傷	「頭部外傷に伴う低髄液圧症候群」に関するアンケート調査結果について	土肥 謙二	救急医学科
303	Regul Pept	C S F orexin-A/hypocretin-1 concentrations in patients with intracerebral hemorrhage (I C H)	Dohi K	救急医学科
304	13th European Congress of Neurosurgery	Emergency Coma Scale-A Basic Concept of New Coma Scale For Consciousness Disturbance	Aruga T	救急医学科
305	Neurosurg Emerg	優れたComa Scaleとは? JCS, ECSの比較研究 -第一報-	有賀 徹	救急医学科
306	PEPTIDES	Pituitary adenylate cyclase-activating polypeptide (PACAP) type 1 receptor (PAC1R) co-localizes with activity-dependent neuroprotective protein (A D N P) in the mouse brains	Dohi K	救急医学科

小計 18件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものの中、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
 2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

2. 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者	所属部門
307	PEPTIDES	C S F orexin-A/hypocretin-1 concentrations in patients with intracerebral hemorrhage (I C H)	Dohi K	救急医学科
308	日本神経救急学会雑誌	頸静脈孔症候群を生じた頭蓋底骨折の1例	中村 俊介	救急医学科
309	Ultrasound Obstet Gynecol	Application of high-intensity focused ultrasound for umbilical artery in a rabbit model	Ichizuka K	病院病理科
310	Showa Univ J Med Sci	In situ hybridization (ISH) analysis for human papillomavirus(HPV) infection in Bowen's disease, Bowen carcinoma and Bowenoid papulosis of the skin	Hamada K	病院病理科
311	Showa Univ J Med Sci	Localization of human papillomavirus-DNA in cervical adenocarcinoma revealed by in situ hybridization	Kushima M	病院病理科
312	Hepatology Research	Intrahepatic status of regulatory T cells in autoimmune liver diseases and chronic viral hepatitis	Sasaki M	病院病理科
313	Pathol Int	Immunohistochemical analysis of nestin and c-kit and their significance in pancreatic tumors	Ohike N	病院病理科
314	診断病理	胃MALTリンパ腫の組織学的治療効果判定に関する検討	野呂 濑朋子	病院病理科
315	昭和医学会雑誌	多発性骨髄腫における血管新生とCOX-2発現の免疫組織学的検討	下間 順子	病院病理科
316	J Antimicrob Chemother	Linezolid versus vancomycin for the treatment of infections by methicillin-resistant Staphylococcus aureus in Japan	Kohno S	臨床感染症学
317	Respiration	Evaluating the use of a Streptococcus pneumoniae urinary antigen detection kit for the management of community-acquired pneumonia in Japan.	Kobashi Y	臨床感染症学
318	日化療会誌	慢性閉塞性肺疾患症例の急性増悪に対するニューキノロン系抗生物質とβ-ラクタム系抗生物質の有用性	東山 康仁	臨床感染症学
319	日化療会誌	小児細菌感染症に対するceftriaxone 1日1回投与に関するアンケート調査	岩田 敏	臨床感染症学
320	日化療会誌	Garenoxacinとtheophyllineとの併用試験	二木 芳人	臨床感染症学

小計 14件

合計 320件

(注意)1. 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
2. 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 飯島 正文
管理担当者氏名	管理課 阿久津 直利

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		病院日誌は管理課、それ以外は診療録管理室に保管	病院日誌は各年度ごとに保管。それ以外は1患者1ファイル及び1ジャケットまたは、1入院1診療録単位に診療記録をファイリングし、外来、入院、X線写真を区分して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事課に保管	
	高度の医療の提供の実績	管理課に保管	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課に保管	
	高度の医療の研修の実績	管理課に保管	
	閲覧実績	診療録管理室に保管	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療連携室に保管	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部に保管	
	確規保則の第9条の2及び第11条の各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	管理課に保管
の第9条の2及び第11条の各号に掲げる体制	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	環境整備センターに保管	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	管理課に保管	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	管理課に保管	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	管理課に保管	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	管理課に保管	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	管理課に保管	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	管理課に保管	

		保管場所	分類方法
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	規則第 1条の 1各号に 掲げる 体制確 保の状 況	院内感染のための指針の策定状況	平成19年4月1日策定：各診療科、部門、病棟、外来、検査室の院内感染防止対策基本マニュアル内に保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	月1回定例会開催：議事録、出席状況は環境整備センターに保管
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年8回実施：資料、出席状況は環境整備センターに保管
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	院内感染防止対策委員会にて毎月報告。ICTが調査、介入したものも含む。 環境整備センターに保管
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	管理課に保管 薬剤部に保管 (医薬品安全管理責任者)
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	管理課に保管 放射線部に保管 (医療機器安全管理責任者)
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	管理課に保管 放射線部に保管 (研修会を年4回実施)
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	管理課に保管 放射線部に保管 重要7品目について策定し実施している
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	管理課に保管 放射線部に保管 (各メーカー及びPmdaから情報を収集し、当該機器は改修し、安全ニュースを発行)

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 飯島 正文
閲覧担当者氏名	診療情報管理士 鎌倉 由香
閲覧の求めに応じる場所	診療録管理室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	4件
閲 覧 者 別	医 師	延 0件
	歯 科 医 師	延 0件
	国	延 1件
	地 方 公 共 団 体	延 3件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	53.0 %	算 定 期 間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算	A : 紹 介 患 者 の 数		12,652人
出	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7,074人
根	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		6,327人
拠	D : 初 診 の 患 者 の 数		42,081人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(3名)
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有
・ 所属職員：専任(3名) 兼任(9名) ・ 活動の主な内容：1) 医療安全対策の推進に関する業務。 2) 医療事故に関する報告窓口業務。 3) 医療事故に関する初期情報収集と対応。 4) 医療事故等の原因究明と必要な指導を行うこと。 5) 医療安全管理について職員への教育及び周知徹底業務。 6) 医療安全管理・対策委員会の議事録に関する業務。 7) 訴訟に関する業務。 8) 当該事故関係医療従事者を支援すること。	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・ 指針の主な内容：別添1	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容：医療事故等の防止・安全管理体制の確保	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 7 回
4月26日：テーマ「テーマ別分科会報告会」参加者776名 5月29日：テーマ「日本の医療安全文化の実情と課題」参加者700名 7月2日：テーマ「医療ガス保安講習会」 テーマ「医薬品の安全使用のための業務に関する手順書について」参加者541名 10月3日：テーマ「医療機関における個人情報保護とプライバシー保護」参加者602名 11月21日：テーマ「苦情対応、医療従事者の味方になってくれる法律」参加者812名 1月22日：テーマ「多剤耐性菌について」参加者775名 2月21日：テーマ「多剤耐性菌について」参加者113名 ※(1月22日と同内容) 3月14日：テーマ「輸液ポンプの安全な使い方について」参加者297名	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： インシデント事例は、テーマ別分科会において横断的に編成された分科会委員（各部署リストマネージャーがテーマ別分科会で検討された分析・改善策について、MRM委員会へ報告する。MRM委員会で報告に基づいて医療事故の防止対策業務改善の検討及び推進を図る。 アクシデントについては、医療安全・管理対策委員会において問題点の分析と対応及び改善策を検討する。問題点の分析及び改善策は、各種委員会で報告する。

別添1

昭和大学病院の医療事故等の防止・安全管理のための指針

(趣旨)

第1条 昭和大学病院は、高度の医療を提供する特定機能病院として、安全管理のための体制を確保する。

2 医療事故等の防止については、医療行為を行う医療従事者個人の努力が必要であることは当然である。しかし、高度化・複雑化する医療環境の中で医療従事者個人の協力に依存した事故防止のみでは対応に限界がある。このため昭和大学病院が組織的に医療事故等の防止について、患者と医療者とは同じ目的に向かって協働するという立場に立ち、患者が安心して医療をうけられる環境を整えるために、次のとおり安全管理指針を定める。

(基本的な考え方)

第2条 昭和大学病院で診療中あるいは病院内において医療事故が発生した場合、直ちに現場にいる医師、看護師、他の医療従事者、事例によっては一般人の協力を得て事故者への救命処置を行い、生命の安全を確保し、治療に最善を尽くすとともにその発生原因を調査分析し、今後の事故防止とその対応について委員会で検討するとともにマニュアル等を整備する。

2 患者と医療者間は協働している。すなわち密なコミュニケーションを図り、日常から信頼関係を維持する。

3 病院全体として医療事故防止に取組むために、各診療科及び各職種の横断的な組織を設けて対応する。また、情報は早期に把握することが重要であるため、報告の徹底を図るとともに、報告内容の分析を通じて医療事故防止に活用する。

(安全管理の体制確保)

第3条 安全管理の体制確保のために次の委員会及び医療安全管理室を設置する。

昭和大学病院に医療安全管理・対策委員会及び医療安全管理室を設置する。

2 医療安全管理・対策委員会の下部委員会として副院長、各診療科、各部署より推薦されたリスクマネジャー若干名による「カル・リスク・マネジメント委員会並びにテーマ別分科会」を置く。

また、必要と認めたときには専門小委員会をおくことができる。

3 医療安全管理室は、医療安全管理・対策委員会の指示のもとに業務を行うものとする。

4 病院長の管理のもと、発生した重大な医療事故について速やかに適切な対応を図るための審議は、医療安全管理室において行う。

5 医療安全管理室内規は別に定める。

6 病院長は重大な医療事故が発生した場合、事故の事実関係を明らかにし、その対応、並びに再発防止策を検討するため、専門小委員会を設置する。

7 組織横断的立場で、専任の医療に係る安全管理を行う者として、医療安全管理者を配置する。

(医療事故等の院内報告制度)

第4条 医療事故等の院内報告制度を導入する。

- 2 病院の安全管理を改善する事を目的として、医療事故等の院内報告制度（状況報告書（Adverse Event の情報）・インシデント報告書）を導入し病院内で発生した医療事故等を把握・分析する。
- 3 メディカル・リスク・マネジメント委員会は、院内感染防止対策委員会など関連の各種委員会と連携し、医療事故等の防止にあたる。
メディカル・リスク・マネジメント委員会は、原則として月1回定例会議する。なお、メディカル・リスク・マネジメント委員会に関する規程については別に定める。
- 4 メディカル・リスク・マネジメント委員会のもとにテーマ別分科会を設置し、報告事例について原因や状況の分析、改善策を検討する。
テーマ別分科会は原則として月1回定例開催することとし、改善対策を行 イカル・リスク・マネジメント委員会に報告する。

(リスクマネジャーの配置)

第5条 医療事故の防止に資するため、メディカル・リスク・マネジメント委員会及びリスクマネジャーを配置する。

- 2 医療安全管理室にゼネラルリスクマネジャーを置き、医療安全管理室内規による業務を行う。
- 3 リスクマネジャーは、各診療科、部、センター及び室に配置する。リスクマネジャーは、院内報告制度に従って速やかに報告することを各部署ですすめる。また、医療事故防止対策マニュアルの見直しや現場での定期的なチェックを行い、医療安全管理体制を構築し、患者安全と医療の質向上に努める。

(職員研修の実施)

第6条 安全管理体制確保のための職員研修を定期的に実施する。

- 2 全ての医療者に医療チームが患者と協働するという意識の向上を図り、医療事故防止に資する為、研修の機会を年2回以上計画的に開催する。
- 3 新規採用職員及び研修医等に対して医療安全に関する昭和大学病院の基本的な考え方、方針、事項を周知させるための研修についても計画的に開催する。

(医療事故対応マニュアル)

第7条 医療事故発生時の対応方法は、医療事故対応マニュアルに沿って対応する。

- 2 Adverse Event や医療事故等の経験した診療科・部及び室は、発生した事実について速やかに、かつ誠実に、患者、家族あるいは遺族へ説明する。

(患者からの相談への対応)

第8条 患者が安心して医療をうけられる環境を整えるために、患者並びにその家族等からの相談や苦情に速やかに適切に応じるため総合相談センター内に「患者相談窓口」を置く、患者相談窓口業務のに関する規定については別に定める。

- 2 当該指針に関する閲覧について、患者及びその家族等からの申し出があった場合は、速やかにこれに応じるものとする。
また、その事務手続きは、医療安全管理室が行い、閲覧及び口頭による説明を原則

とする。

3 患者及びその家族等による閲覧が行われた場合は、医療安全管理・対策委員会へ報告する事とする。

(その他医療安全の推進のために必要な基本方針)

第9条 医療事故防止のため、医療事故防止マニュアルの周知徹底を図る。マニュアルは、隨時改訂していく。

- 2 医療チームにおける責任体制の明確化を図る。
- 3 感染に関わる事故については、「院内感染対策マニュアル」にそって対応する。
- 4 医薬品に係る安全管理体制並びに安全使用の確保の為に医薬品安全管理責任者を配置する。
- 5 医療機器に係る保守点検・安全管理体制並びに安全使用の確保の為に医療機器安全管理責任者を配置する。

附 則

1. この指針は、平成12年9月21日から施行する。
2. この改正指針は、平成15年3月20日から施行する。
3. この改正指針は、平成15年7月1日から施行する。
4. この改正指針は、平成18年7月20日から施行する。
5. この改正指針は、平成19年9月20日から施行する。
6. この指針の改廃は、医療安全管理・対策委員会の議を経て、病院運営委員会の承認を得るものとする。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容：趣旨、基本的な考え方、病院感染防止の体制確保、病院感染等の院内報告制度、感染リンクナースと感染リンクドクターの配置、職員研修の実施、その他の感染防止対策推進のために必要な基本方針としてマニュアルの周知徹底・医療安全管理対策委員会との連携・指針の閲覧からなる項目で構成している。 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容：多剤耐性菌感染症発生報告、転帰報告、感染症発生報告、針刺し事例報告、感染情報レポート報告、ICTラウンド報告、抗MRSA薬使用症例数報告からなる報告事項と、報告内容で調査検討が必要な事項の検討。ICTから出される検討事項の討議、マニュアルの改訂、追加、修正の検討。職員教育の実施状況と出席状況の確認。感染関連の消毒薬や安全器材の選定。 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年8回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ①ウイルス感染症（ワクチン接種と感染経路別予防策）、②手指衛生、③結核の診断と予防と対策、④感染性胃腸炎の予防と対策、⑤標準予防策、⑥針刺し事例報告と予防策、⑦尿路感染症について、⑧手指衛生の取組 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>ICTラウンドを週1回行い、医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師のチームでラウンドすることにより、複数の視点で感染対策を考慮することができるようになった。 針刺し事例の多い原因器材を、安全装置付き器材へ変更することにより、針刺し事例の減少を期待している。（現在変更中） 講習会の回数を増加し、従業者が参加しやすい体制を整えている。また、講習会内容をDVDに録画し、出席できない従業者に対し貸出等を行っている。 手洗いキャンペーンの実施により手指衛生の啓発を行う。</p>	(有)・無

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

<p>① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況</p>	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容 :</p> <p>全職員対象 : 1) 誤薬・誤注事例報告 (テーマ別分科会報告) 2) 医薬品の安全使用のための業務に関する手順について 3) 医薬品の安全管理体制の整備 (副作用報告制度について)</p> <p>新臨床研修医対象 : 1) 医薬品適正使用への取扱いと注意事項 2) 医薬品の使用法および処方の記載 3) 医薬品の安全 4) 医薬品の副作用</p> <p>薬剤師対象 : ・ 医療の安全に関する事項について</p> <p>新任看護師対象 : ・ 薬剤の基礎知識</p>	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p>	
<p>・ 手順書の作成 (<input checked="" type="radio"/> 有 · <input type="radio"/> 無)</p> <p>・ 業務の主な内容 :</p> <p>第 1 章 教育・研修</p> <p>第 2 章 事故発生時の対応</p> <p>第 3 章 外来および入院患者への医薬品の使用と管理 (患者に対する与薬や服薬指導に関する事項)</p> <p>第 4 章 医薬品情報の収集・管理・提供 (医薬品の安全使用に係る情報の取扱い)</p> <p>第 5 章 医薬品の採用 (医薬品の採用・購入に関する事項)</p> <p>第 6 章 医薬品の管理 (購入管理と供給管理) (医薬品の管理に関する事項)</p> <p>第 7 章 薬剤部における医薬品の適正使用の管理 (患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項)</p> <p>第 8 章 薬剤管理指導</p> <p>第 9 章 他施設との連携 (他施設との連携に関する事項)</p>	
<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況</p>	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 · <input type="radio"/> 無)</p> <p>・ その他の改善の方策の主な内容 :</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 持参薬管理の改善: 持参薬運用手順改定 (休日時間外も薬剤師の関与実施) ② 麻薬管理の適正化: 麻薬返却運用改定 (麻薬返却に薬剤師が関与し円滑かつ確実な返却の実施) ③ 看護師注射薬取り違い防止対策: 休日も含む 365 日体制での臨時及び定時注射薬の患者完全個人セット化払出し開始 (看護師による注射薬取り違い防止他のため緊急時を除く注射せんについて薬剤師による輸液も含み患者個人毎の 1 回分毎取り揃え払い出しを休日も含め 365 日体制で実施) 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(<input checked="" type="radio"/> 有) ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容：人工心肺装置及び補助循環装置の安全使用 　　人工呼吸器の安全使用 　　血液浄化装置の安全使用 　　除細動装置の安全使用 　　閉鎖式保育器の安全使用 　　診療用高エネルギー放射線発生装置の安全使用 　　診療用放射線照射装置の安全使用 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ 保守点検の主な内容：各医療機器の添付文書に記載されている年間回数及び点検項目に基づいて、医療スタッフで実施している。人工心肺装置、人工呼吸器の一部、血液浄化装置の一部、閉鎖式保育器、診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置については外部委託を行っている。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有) ・ その他の改善の方策の主な内容： 各医療機器メーカー及び医薬品医療機器総合機構からの情報に基づいて当院で使用している医療機器の安全管理を行っている。改修・回収情報については特定保守管理機器台帳に基づいて、各部署の責任者と連携し、実施し、その内容を医療機器安全管理委員会及び医療安全管理対策委員会に報告している。また、毎月「医療機器安全ニュース」を発行し、情報の共有化を推進している。 	